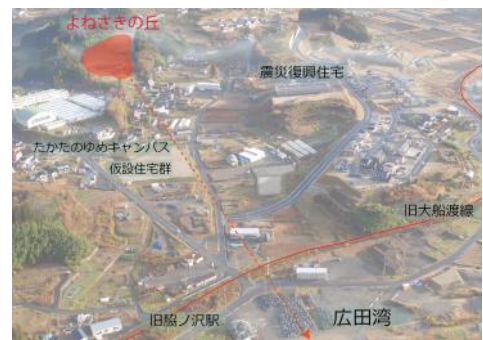




## よねさきの丘プロジェクトとは？

東日本大震災、その後の大々的な工事によって岩手県陸前高田市の風景は一変しました。住んでいた町がなくなり、まったく違う町が出来上がろうとしています。その変化が住人にもたらす影響は計り知れません。

そうした街の中に、かつての風景が残る丘陵地があります。その丘を“よねさきの丘”とし、地域住人の方々や復興のため訪れたボランティアが集い、語り合えるような場所に計画することが、私たちの活動の目的です。



## プロジェクト目標・進捗度

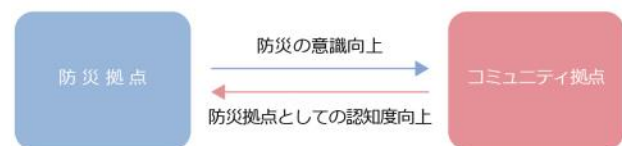
### プロジェクト目標

1. よねさきの丘への新規アクセス路となる産業路の整備
2. 産業路整備によって生じた伐木材による東屋の建設
3. ワークショップの実施による当該敷地の防災拠点化

私たちは学生プロジェクト採択後、主に産業路整備のための伐木・東屋建設地の地盤工事・設計を行いました。目標1「新規アクセス路の整備」では、新規アクセス路の測量・設計を終え、東屋の建材となる気仙杉の伐木まで終了しています。

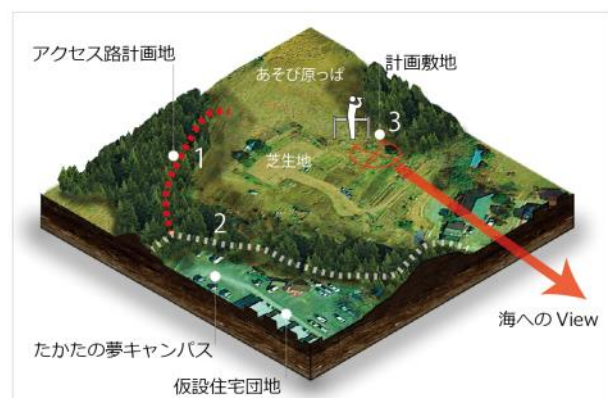
伐木を終えた産業路は簡単な地固めを終えました。目標2「東屋の建設」では、基本設計を終え実際の施工を迎えるに当たって、施工面での検討段階に入りました。現場では東屋の基礎の施工・柱となる建材の選定や皮むきを行いました。目標3「ワークショップの開催」では、夏行われた地域の祭りに参加しました。プロジェクトの概要を地域の方にお話しさせていただき、この丘が地域の防災拠点になっていけるように活動していると説明しました。

### プロジェクト工程



### コミュニティ拠点から防災拠点へ

1. 路の為の伐木
2. 造材して運び出し
3. 伐木材を建築に





6月・7月



新規アクセス路の工事開始



気仙杉の伐木



産業路設計時の測量



外部協力団体との交流



東屋の設計検討

8月



企画した遊具で遊ぶ子供



地元の祭りへの参加 - 子供達とものづくりを楽しむ -



東屋建設地の決定



参加する祭りの企画の検討



伐木した木の伐根

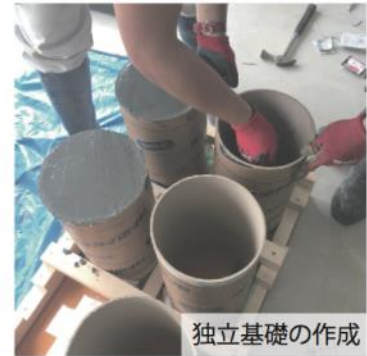
9 月・10 月



地ならしを終えた産業路



気仙杉の皮むき



独立基礎の作成



柱と基礎の接合部の検討



東屋の基礎工事準備

### 今後の活動計画、目標、意気込み

当プロジェクトの代表者を務める紺野雄輔は岩手県陸前高田市で生まれ育ち、高校 1 年時に東日本大震災による津波を経験しました。変わりゆく街の中で地盤の固い丘陵地であるために震災から逃れ、以前と変わらない風景が広がるのが当計画地です。

私たちは利益利潤を目的としない学生ならではの目線や考えによって整備された場所が地域住民の方々のより豊かな生活のきっかけになることを最大の目標とし、被災地における復興やボランティアのあり方をこのプロジェクトから発信していこうと考えます。

今後は、来年 3 月の東屋完成を目指します。現地での作業・地域の方との交流や大学内での計画案のブラッシュアップをし、より良いものを作っていこうと思います！

#### Information

Mail:nontagsit@gmail.com

URL:https://aj13022.wixsite.com/yonesaki-pro



メンバー集合写真



東屋の検討模型写真